



令和4年9月2日 <9月号>

〒929-0325

石川県河北郡津幡町字加賀爪又6番地1

TEL 076-289-2213

FAX 076-288-5535

学校だより さわやか



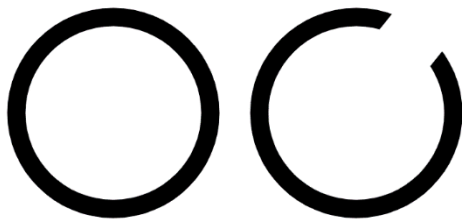
### よいところを見て、積極的に言葉にしましょう

校長 小村 隆典

夏休みが終わり、2学期が始まりました。この夏休みに開催された北信越大会や全国中学校体育大会、コンクール等の大会では、男女卓球部と柔道部、剣道部、科学部など、津幡中生は強豪相手に果敢なプレーを見せてくれました。既にほとんどの部活動では、リーダーのバトンは3年生から2年生に引き継がれています。今後、2年生は「学校の顔」に、1年生は2年生を支える「学校の柱」に成長してくれることを期待しています。



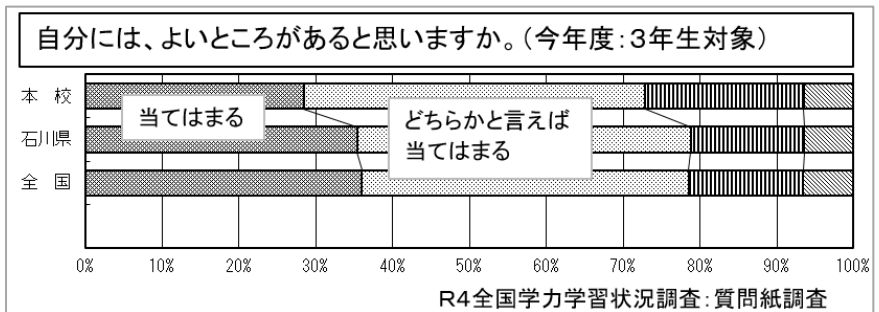
#### 「どこを見るか」によって、言葉は変わります



右と左の円のうち「どちらが気になりますか」と聞かれると、多くの方は「右」と答えるのではないのでしょうか。一般に、人は欠けているところや足りないところに目が行きがちです。「他者に対して、自分に対して」です。特に思春期には自分に対して、「ここがダメなんじゃないか。人と比べてここが足りない

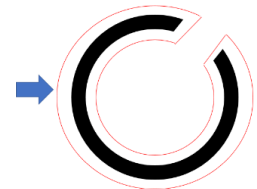
のではないか」などと考えてしまい、自信を失いがちになることがあります。

右は今年度4月に行われた全国学力調査の生徒アンケート（3年生対象）の一部です。「自分には、よいところがあると思いますか。」との質問に、肯定的回答をする本校生徒の割合は、県・全国平均に比べて低いという結果でした。そんなことはありません。本校生徒、アンケート対象の3年生には、よいところがいっぱいあります。挨拶は本当に素晴らしいです。毎朝の玄関、そして日中に廊下を通る度に挨拶をしてくれます。授業では楽しく学んでいる生徒がとても多いです。校長として誇りに思っています。



#### 意識してよいところを見ていきましょう

完璧な人はいません。また、悪いところばかりの人はいません。友だちのよいところを意識して見て、それを積極的に言葉にしましょう。「褒め言葉」と「感謝の言葉」を津幡中の1~3年生が意識して声に出していくと、間違いなく雰囲気は良くなります。「学級も、学年も、部活動も、学校全体も」です。



保護者の皆さまにお願いいたします。ご家庭で、お子様のよいところを認め、努力をしようとする気持ち・姿勢を積極的に褒めていただきたいと思います。学校でも、職員は生徒たちのよいところを認め、やろうとしている姿勢を積極的に褒めていきます。自信は行動することによってのみ身に付きます。家庭と学校で連携し、子どもたちの「頑張る勇気・行動する勇気」を育て、本当の「自信」につなげたいと思います。